

研究テーマ

「看護実践・技術の基盤となる看護基礎科学の探究」

看護基礎科学研究室は、看護学の基礎となる理論の開発や検証を目的とした研究を扱っています。

看護学は、人間という複雑な現象を対象とする学問であるため、看護学の基盤として、哲学・医学・心理学・社会学など、さまざまな学問分野で開発された理論や概念を、看護学に適用して発展してきた歴史があります。概念導出（Concept derivation）や理論の移行を行う際には、看護の目的や方法にそれを適切に適用する必要があります。このため、「看護（学）は、何を目指し、何を特殊性としているのか」という問いの答えを探索しつつ、研究を進めます。

看護とは何か、という問いを常に念頭に置きながら、理論開発や概念導出を行うことが必要であり、看護基礎科学研究室とは、このような研究を扱う研究室です。

所属院生の主な研究テーマと研究紹介

□ 個別性のある看護に関する研究

概念分析とエキスパートナースへのインタビュー調査からその内容に迫りました。

□ 看護師の感情労働に関する研究

看護師の仕事は、自身の感情の動きを伴うものであり、これが看護師の精神的な健康や、プロフェッショナルとしての成長に関わることが分かっています。看護師の感情労働と共感性、社会的スキルとの関係について質問紙調査を行い、これらの関係性についての仮説モデルを提案しました。

□ 食欲を引き出す援助に関する研究

患者さんの食欲を引き出す援助は、看護実践の中で非常に重要です。概念分析でこれを探求し、この結果をもとに、認知症の患者の食欲を引き出す援助についてエキスパートナースへのインタビューから概念枠組みを作成しました。

□ 看護師のSOC（首尾一貫感覚）と職業経験の関連を知り、介入方法を検討する研究

健康生成論を基盤に、看護師の健康を保つための経験のとらえ方に関する研究をしています。

□ 看護師の観察に関する研究

看護師の観察と、看護の必要性の判断について研究しています。

□ 高齢者をより良い睡眠に導くための援助に関する研究

生体リズムの仕組みをもとに、より良い睡眠のための高齢者への援助の提案をしようとしています。

主な担当講義科目

□看護研究方法論（修士） □看護理論（修士） □Evidence based Practice概論（修士）

□機能看護学特論・演習（修士）

□看護学研究特論（博士） □対人ケアマネジメント特別演習（博士）

大学院進学を希望する方へ一言

看護基礎科学研究室は、扱う研究範囲が広いので、**まずはこちらでご相談**いただければと思います。

修士課程では、看護の探求に燃えている方はもちろん、「少し違う視点から看護を考えられたら自分の将来が見えるかもしれない」、と思っていらっしゃる方が学んでみることもお勧めします。

博士課程においては、看護技術や生活リズムを整える看護についての研究で、ご自分の研究テーマについての**Real Reason（臨床的な研究疑問、解決したい看護場面）**や**持ち、あきらめず探求できる方**と一緒に看護を探求したいと思っています。